

2005年9月6日

トッパン・フォームズ株式会社

日本ベリサイン株式会社

マイクロソフト株式会社

トッパンフォームズ、日本ベリサイン、マイクロソフトが、EPCglobalソリューションの提供で連携 ～ Windowsプラットフォーム上で動くEPCglobalネットワークシステムを実現～

トッパン・フォームズ株式会社（以下：トッパンフォームズ、本社：東京都港区、代表取締役社長：秋山 正法）、日本ベリサイン株式会社（以下：日本ベリサイン、本社：東京都中央区、代表取締役社長兼CEO：橋本 晃秀）、マイクロソフト株式会社（以下：マイクロソフト、本社：東京都渋谷区）は、EPCglobalネットワークシステムの導入支援・サービス提供において、連携を図ることに合意しました。

現在、RFID（ICタグ）への関心が高くなる中で、EPCglobalネットワークシステムは、多くの企業において導入検討が進められており、EPCglobalに対応したグローバルなICタグシステムを想定した、国内外での実証実験も活発に行われています。その一方で、実際の導入に踏み切れない企業が多いのが現状です。その理由としては、標準化の項目は ICタグ、リーダライタなどのハードウェアからサーバ・ネットワークに至るまで多岐にわたり、かつ、その全容を把握した上で最新のEPCglobal仕様に対応したシステムを構築するためには、多くの労力を必要とするからです。さらに、各企業の利用シーンに応じた効果的な導入を図るためには、導入前に様々な検証やプロトタイピングを必要とします。

このような状況において、トッパンフォームズ、日本ベリサイン、マイクロソフトは共同で、EPCglobalネットワークシステムの導入支援、及び各種サービスを提供することで合意しました。

具体的には、トッパンフォームズ、マイクロソフトが共同で開発した Windows プラットフォーム上で稼動する流通向けICタグミドルウェア「RDSC Framework for Logistics」と、日本ベリサインが提供するEPCglobal Network を利用してRFIDの情報を活用することを可能にする「VeriSign EPC Starter Service」を組み合わせた連携システムの提供を行います。また、トッパンフォームズ（汐留）に開設したRFID .NET Solution Center（以下RDSC）において、本連携システムを利用した実験・検証を行う環境を無償で提供します。これにより、EPCglobalネットワークシステムの導入を検討している企業は、その導入前の検証やプロトタイピングにおける開発負担が軽減するとともに、短期間でのスムーズなシステム導入を実現することが可能です。

この連携により、RDSCを拠点として、流通業をはじめとするEPCglobalネットワークシステムの導入を検討している企業に、以下のサービスを提供します。

- 定期的開催するセミナーを通じて、EPCglobalに関する国内外の最新動向を提供します。
- EPCglobalネットワークシステム導入に必要な要素を理解でき、かつ、RDSCで今回の連携サービスを含むシステム全体の導入計画の立案・ROI（投資収益率）の策定をサポートします。
- EPCglobalに対応したネットワークシステムの検証作業が可能な検証スペースを無償で提供します。

3社のこれまでの導入経験をベースに、トッパンフォームズは、ICタグや読取り装置等のRFID環境の構築、日本ベリサインはネットワーク基盤の構築、マイクロソフトは SQL Server™ 2005 や BizTalk® Server などのサーバソフトウェア基盤を提供して参ります。

3社は、まず協業の第1弾として、2005年9月14日より開催される自動認識総合展のトッパンフォームズ／マイクロソフト共同ブースにて、EPCglobalネットワークシステムに対応したシステムを展示する予定です。本システムは、実運用を想定した、複数拠点が連携するシステムとなります。

以上

本件に関する問い合わせ先

トッパン・フォームズ株式会社
連絡先：広報室
〒105-8311 東京都港区東新橋1-7-3
TEL 03-6253-6595 FAX 03-6253-5629

マイクロソフト株式会社
連絡先：広報部
〒105-8311 東京都渋谷区代々木2丁目2-1
TEL 03-4523-3210 FAX 03-4523-3209

日本ベリサイン株式会社
連絡先：マーケティングコミュニケーションズ
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1
TEL 03-3271-7014 FAX 03-3271-7029